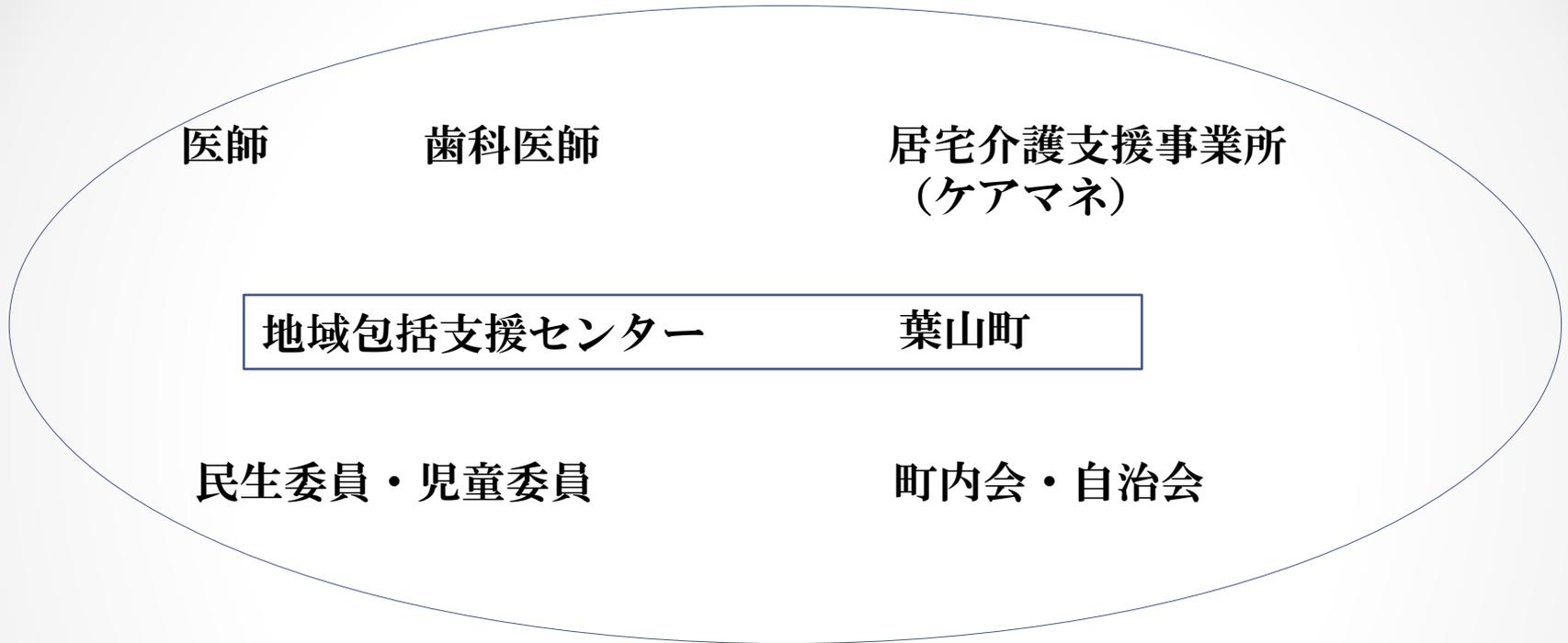


葉山町地域包括ケア会議



地域で起こった課題について、葉山町、葉山町地域包括支援センターを中心に関係する医療機関、福祉関係者、地域住民が集まり、解決策を見出すとともに、個別事例会議を重ねる中で、多職種の意見を吸い上げながら葉山町の地域に根ざした福祉体制を構築していく。

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	葉山町
②人口（※1）	33,732人 (H25.5.1)
③高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	65歳以上 9,600人 (H25.5.1) (うち、75歳以上 4,543人)
① 取組の概要	地域での困難事例について、対応策を多職種協働で検討する。
⑤取組の特徴	地域包括支援センターを中心に、医師、ケアマネジャー、民生委員、町内会・自治会等、様々な地域福祉関係者が集い、個別ケースの解決策を検討する中での地域包括ケア体制の構築を目指していきます。(本格運用は25年度)
⑥開始年度	平成24年度
⑦取組のこれまでの経緯	平成24年度は、県の事業を活用して弁護士にお越しいただき、地域包括支援センター、ケアマネジャーとともに困難事例について検討をしました。
⑧主な利用者と人数	葉山町民
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	地域包括支援センター 地域の居宅介護支援事業所、 民生委員・児童委員、町内会・自治会 等
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	地域包括支援センターへの委託の中で実施
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	24年度は、県の専門職派遣事業を活用
⑫取組の課題	地域の困難事例について、ケアマネジャー等が地域ケア会議に上げやすい環境づくりが課題と考えます。 なお、ケアマネジャーは、日々の個別ケースへの対応で手一杯なところもあり、地域福祉の担い手として、どこまで対応できるか不安もあります。
⑬今後の取組予定	まずは、地域包括支援センターで抱えている困難事例について、地域の多職種の地域福祉関係者が集いその解決策を検討し、解決策の中に本町の地域性に根ざした地域包括ケア体制の構築を目指していきます。
⑭その他	本年6月1日に、本町初の小規模多機能型居宅介護事業所が開設されました。当該事業所は、1階部分に小規模多機能とは別に、地域の方々が集えるスペース（ロビー、和室）を設置しております。 事業所との話し合いの中では、地域の方々が自由に集い、たまり場として活用したり、マージャンをしたり、カラオケをしたりといった自由な空間を提供していく予定です。 また、行政、社会福祉協議会、事業所との話し合いの中では、当該スペースが小地域活動等、地域福祉活動の拠点としての側面も持てるように、近隣自治会等と今後話し合いを重ね、地域福祉の向上を目指した空間づくりを目指していく予定です。
⑮担当部署及び連絡先	保健福祉部福祉課 046(876)1111 内線 234

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。